

平成30年度 中央区立京橋築地小学校 外部評価報告書	
評価委員会名：中央区立京橋築地小学校・中央区立京橋朝海幼稚園評価委員会 評価委員：松岡誠一郎委員長 徳堂康彦副委員長 森田俊秀委員 江村光良委員 鈴木康介委員 中村輝樹委員 片山善明委員	
評価時期 平成31年2月	
1	重点目標の評価 重点目標1『丈夫な体とたくましい心を育てる』について 持久走への取り組みが猛暑のため一部中止になったとのことであるが、体力調査の結果は大きく向上しており、全体としては本年度もよく取り組んでいると考える。反面、アンケートの肯定的評価は80%ほどで「分からない」の割合も増えている。取り組みの様子の発信に工夫をするとともに、遠泳、持久走をはじめ、万全の安全対策と健康管理のもとで、継続して丈夫な体とたくましい心の育成に取り組んでほしい。 重点目標2『言葉の力を育てる』について 外国語やプログラミング教育など、新たな教育内容が次々と入ってきている一方、若者の自ら考え、文章を書く力や想像力の低下が指摘されている。このような時代だからこそ、基礎となる日本語の力を重点目標に据えていることは大切である。日常の授業をはじめ、本校の特色でもある様々な読書活動、詩の集会への取り組みを今後も大切に、想像力とともに児童の語彙を広げ、適切に用いる力を伸ばして欲しい。 重点目標3『互いに認め合い、思いやる人間関係を育てる』について 上級生と下級生のつながりの深さは本校の誇れるよさである。京橋朝海幼稚園の園児にとっても小学生はあこがれの存在であり、よい連携が図れている。また、街中で会ったときにきちんと挨拶ができる高学年が増えてきたように感じる。望ましい人間関係を築くためには低学年のうちから規範意識を育てていくことが不可欠である。これからも学校、家庭、地域と、児童に関わる大人が範を示しながら、育てていきたい。
2	今後の改善に向けた意見 ・近年の教育活動全般を通して、児童に至れり尽くせりの傾向が強いように感じる。多くのものが与えられ飽食状態で、かえって意欲や感性が鈍っている面もあるのではないか。教育活動の見直しの際の視点の一つに入れてよいものとする。 ・特認校制度の適用が決まったが、前向きに捉え、遠泳、持久走、マーチング、異年齢交流活動など、本校の特色やよさを前面に出して、賛同する保護者・児童を集めてほしい。
3	その他の意見 ・教員の働き方改革が課題となっているが、本来家庭や地域が担うべきことも含め、多くのことが学校に求められ過ぎていることが一因と考えられる。また、学校評価のアンケートもここまで詳細な項目で取る必要があるのか、一考の余地がある。